



雪印メグミルク

2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2019年2月7日

上場会社名 雪印メグミルク株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 2270 URL <http://www.meg-snow.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 啓治
 問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部長 (氏名) 渡辺 滋 TEL 03-3226-2124
 四半期報告書提出予定日 2019年2月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	459,477	1.1	13,972	△13.3	15,212	△13.4	9,542	△18.9
2018年3月期第3四半期	454,691	1.1	16,108	△0.5	17,556	2.1	11,763	1.5

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 8,421百万円 (△34.9%) 2018年3月期第3四半期 12,938百万円 (1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	140.73	—
2018年3月期第3四半期	173.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	354,128	163,277	45.4	2,370.86
2018年3月期	351,240	157,338	44.1	2,286.11

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 160,750百万円 2018年3月期 155,021百万円

(注) 2019年3月期第1四半期の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を適用しており、2018年3月期については遡及適用後の数値を記載しています。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	601,000	0.8	17,500	△9.6	19,000	△9.5	10,500	△21.6	154.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期3Q	70,751,855株	2018年3月期	70,751,855株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	2,949,189株	2018年3月期	2,941,743株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期3Q	67,807,918株	2018年3月期3Q	67,829,264株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

(補足説明資料)

2019年3月期 第3四半期決算短信 補足説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、景気は緩やかに回復しており、今後もその継続が期待される一方で、通商問題の影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に対する懸念があります。

個人消費は雇用・所得環境が改善する中で持ち直しておりますが、節約の動きも継続して見られます。食品業界においては、コストの上昇を価格に転嫁する動きも見られるほか、機能や低価格をそれぞれ訴求した商品の投入も見られるなど、消費者の価値観が多様化する中で様々な需要が生まれております。

このような経営環境下、当社グループは「グループ中期経営計画2019」に基づき、収益基盤の複数化およびキャッシュ・フローの最大化に取り組み、機能性ヨーグルトなどの高付加価値商品およびチーズなどの主力商品の販売拡大に伴うプロダクトミックスの改善、ならびにニュートリション事業分野におけるマーケティング投資の継続による規模の拡大など、将来の成長に向けた収益基盤の強化等に努めました。

なお9月に発生した北海道胆振東部地震により当社サプライチェーンへの影響が一部で生じました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績につきましては、売上高は459,477百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は13,972百万円（前年同期比13.3%減）、経常利益は15,212百万円（前年同期比13.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,542百万円（前年同期比18.9%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、ルナ物産株式会社は重要性が増したため、持分法適用関連会社としております。

セグメントごとの当第3四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。なお、セグメントごとの売上高につきましては、外部顧客に対する金額を記載しております。

① 乳製品

当セグメントには、乳製品（チーズ、バター、粉乳等）、油脂、ニュートリション事業（機能性食品、粉ミルク等）等の製造・販売が含まれております。

売上高は181,154百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は9,052百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

売上高は、バターは安定供給に引き続き取り組む中で堅調に推移しました。油脂は市場の低迷が続き減少しております。当社は、2018年3月より家庭用のマーガリン類の商品で、トランス脂肪酸を多く含む部分水素添加油脂を使用しない配合を実現しており、今後もトランス脂肪酸低減の取り組みにより売上の確保に努めてまいります。チーズは国内乳資源の需給を踏まえた販売に取り組んだことなどから減少しました。機能性食品は特定保健用食品の毎日骨ケアMBPがマーケティング投資の継続により伸長しました。これらの結果、当セグメント全体では微増収となりました。

営業利益は、プロダクトミックスの改善、および価格改定・容量変更の実施に伴う販売単価差が増益要因であったものの、乳価改定の影響もあり原材料コスト等が増加したことから減益となりました。

② 飲料・デザート類

当セグメントには、飲料（牛乳類、果汁飲料等）、ヨーグルト、デザートの製造・販売が含まれております。

売上高は215,407百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は2,886百万円（前年同期比30.5%減）となりました。

売上高は、ヨーグルトは機能性表示食品として新発売した「恵 megumiガセリ菌SP株ヨーグルト ベリーミックス」や「恵 megumiガセリ菌SP株ヨーグルト ドリンクタイプ マスカット」などの当社保有の乳酸菌「ガセリ菌SP株」の機能訴求のためのプロモーション活動を強化したことなどから好調に推移しました。飲料は市場低迷の影響もあり減少しました。デザートは新商品およびリニューアル品が牽引したことなどから堅調に推移しました。これらの結果、当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、機能性ヨーグルトの販売が拡大したものの、オペレーションコストや減価償却費等の固定経費が増加したことなどから大幅な減益となりました。

③ 飼料・種苗

当セグメントには、牛用飼料、牧草・飼料作物種子、野菜種子の製造・販売が含まれております。

売上高は35,227百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は1,060百万円（前年同期比25.1%減）となりました。

売上高は、配合飼料の販売価格上昇等により当セグメント全体では増収となりました。

営業利益は、牧草・飼料作物種子の売上減少や配合飼料の販売物量減少、原価上昇の影響等により減益となりました。

④ その他

当セグメントには、共同配送センター事業、不動産賃貸事業等が含まれております。

売上高は27,688百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は893百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第1四半期連結会計期間の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

なお、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。

① 資産、負債および純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,888百万円の増加となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金が増加した一方で、機械装置及び運搬具が減少したことなどによります。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して3,051百万円の減少となりました。

た。

これは主に、短期借入金が減少した一方で、社債及び長期借入金が増加したことなどによります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して5,939百万円の増加となりました。

これは主に、利益剰余金が増加した一方で、その他有価証券評価差額金が減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、15,831百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの原因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、19,797百万円の収入（前年同期は16,085百万円の収入）となりました。前年同期との比較では、主に仕入債務の増減額や売上債権の増減額、たな卸資産の増減額が減少したことなどにより、3,712百万円の収入増となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、12,370百万円の支出（前年同期は9,078百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に有形及び無形固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、3,292百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,624百万円の支出（前年同期は11,823百万円の支出）となりました。前年同期との比較では、主に長期借入金の返済による支出が増加した一方で、社債の発行による収入や長期借入れによる収入、短期借入金の純増減額が増加したことなどにより、6,198百万円の支出減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、2018年5月10日の「2018年3月期決算短信」で公表いたしました2019年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

売上高は、第3四半期までの実績および今後の市場状況の見通しから、前回発表予想を下回る見込みです。

また、利益面におきましては、売上高が前回発表予想を下回る見込みであることに加え、9月に発生した北海道胆振東部地震による影響、および子会社である雪印種苗株式会社による配合飼料製造を目的とした合弁新会社設立に伴い既存工場に対して減損損失を見込むことなどにより、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回発表予想を下回る見込みです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	605,000	19,000	20,000	13,500	199.09
今回発表予想 (B)	601,000	17,500	19,000	10,500	154.85
増減額 (B-A)	△4,000	△1,500	△1,000	△3,000	
増減率 (%)	△0.7	△7.9	△5.0	△22.2	
(ご参考) 前期連結業績 (2018年3月期)	596,158	19,363	20,996	13,386	197.36

※ 上記の予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,620	15,894
受取手形及び売掛金	69,302	75,591
商品及び製品	39,632	37,528
仕掛品	1,423	1,557
原材料及び貯蔵品	12,857	13,290
その他	4,694	4,653
貸倒引当金	△405	△400
流動資産合計	142,125	148,114
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,039	46,493
機械装置及び運搬具(純額)	56,095	53,433
土地	50,396	50,333
その他(純額)	10,262	12,751
有形固定資産合計	164,794	163,011
無形固定資産	3,921	3,327
投資その他の資産		
投資有価証券	29,326	28,686
繰延税金資産	4,859	4,832
その他	6,817	6,545
貸倒引当金	△604	△388
投資その他の資産合計	40,398	39,675
固定資産合計	209,114	206,014
資産合計	351,240	354,128

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	60,475	60,250
電子記録債務	4,021	5,516
短期借入金	41,827	21,658
未払法人税等	2,259	1,120
賞与引当金	5,208	2,903
その他	26,878	28,629
流動負債合計	140,670	120,078
固定負債		
社債	—	10,000
長期借入金	27,089	34,935
繰延税金負債	651	650
再評価に係る繰延税金負債	3,981	3,959
役員退職慰労引当金	20	20
ギフト券引換引当金	190	184
退職給付に係る負債	8,667	8,644
資産除去債務	1,699	1,721
その他	10,932	10,654
固定負債合計	53,231	70,771
負債合計	193,901	190,850
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	17,585	17,585
利益剰余金	108,186	115,319
自己株式	△4,643	△4,665
株主資本合計	141,128	148,240
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,322	5,055
繰延ヘッジ損益	△163	△135
土地再評価差額金	8,951	8,902
為替換算調整勘定	382	144
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,457
その他の包括利益累計額合計	13,892	12,510
非支配株主持分	2,317	2,527
純資産合計	157,338	163,277
負債純資産合計	351,240	354,128

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	454,691	459,477
売上原価	343,435	349,480
売上総利益	111,256	109,996
販売費及び一般管理費	95,148	96,023
営業利益	16,108	13,972
営業外収益		
受取利息	16	13
受取配当金	822	703
持分法による投資利益	611	670
その他	743	687
営業外収益合計	2,194	2,074
営業外費用		
支払利息	411	353
その他	334	481
営業外費用合計	745	834
経常利益	17,556	15,212
特別利益		
固定資産売却益	26	21
投資有価証券売却益	40	14
その他	1	73
特別利益合計	69	109
特別損失		
固定資産売却損	107	0
固定資産除却損	727	821
減損損失	126	334
災害による損失	—	622
その他	103	178
特別損失合計	1,064	1,957
税金等調整前四半期純利益	16,561	13,364
法人税等	4,738	3,612
四半期純利益	11,822	9,752
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	209
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,763	9,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	11,822	9,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	878	△1,268
繰延ヘッジ損益	53	28
為替換算調整勘定	121	△237
退職給付に係る調整額	68	142
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	4
その他の包括利益合計	1,116	△1,330
四半期包括利益	12,938	8,421
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,875	8,208
非支配株主に係る四半期包括利益	63	212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,561	13,364
減価償却費	11,289	11,701
減損損失	126	334
災害損失	—	622
持分法による投資損益(△は益)	△611	△670
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△155	△219
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,179	△2,302
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△555	△202
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	491	△225
ギフト券引換引当金の増減額(△は減少)	△10	△8
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△117	—
固定資産除売却損益(△は益)	807	800
受取利息及び受取配当金	△839	△716
支払利息	411	353
売上債権の増減額(△は増加)	△10,191	△6,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,377	1,472
仕入債務の増減額(△は減少)	5,872	1,311
その他	1,157	4,287
小計	20,680	23,540
利息及び配当金の受取額	909	771
利息の支払額	△380	△337
災害損失の支払額	—	△69
法人税等の支払額	△5,124	△4,106
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,085	19,797
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△67	△22
定期預金の払戻による収入	190	502
貸付けによる支出	△263	△93
貸付金の回収による収入	300	4
有形及び無形固定資産の取得による支出	△9,394	△12,698
有形及び無形固定資産の売却による収入	392	75
投資有価証券の取得による支出	△14	△254
投資有価証券の売却による収入	114	47
その他	△336	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,078	△12,370

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,786	△2,021
長期借入れによる収入	1,500	10,000
長期借入金の返済による支出	△4,650	△20,301
社債の発行による収入	—	9,939
自己株式の取得による支出	△46	△22
配当金の支払額	△2,710	△2,709
非支配株主への配当金の支払額	△0	△2
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,397	—
その他	△731	△507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,823	△5,624
現金及び現金同等物に係る換算差額	17	△46
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,799	1,755
現金及び現金同等物の期首残高	15,940	14,076
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,141	15,831

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	180,553	212,341	34,180	427,075	27,616	454,691	—	454,691
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,521	27	661	11,211	9,129	20,340	△20,340	—
計	191,074	212,369	34,842	438,286	36,745	475,032	△20,340	454,691
セグメント利益	9,320	4,156	1,415	14,892	1,149	16,042	65	16,108

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 65百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乳製品	飲料・ デザート類	飼料・種苗	計				
売上高								
外部顧客への売上高	181,154	215,407	35,227	431,788	27,688	459,477	—	459,477
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10,220	61	703	10,986	9,354	20,340	△20,340	—
計	191,374	215,469	35,930	442,774	37,043	479,818	△20,340	459,477
セグメント利益	9,052	2,886	1,060	12,999	893	13,893	79	13,972

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、共同配送センター事業及び不動産賃貸事業等が含まれております。

2. セグメント利益の調整額 79百万円は、セグメント間の取引消去金額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。